

2025年2月期 第2四半期

## 決算説明資料

2024年10月15日

## 古野電気株式会社

### 注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

## ◆実績

- 過去最高の実績、増収増益を達成
- 営業利益、当期純利益は大幅に伸長
  - 舶用事業は国内・海外の堅調な需要環境が継続したことで売上が増加
  - 産業用事業は主に防衛装備品の売上が増加
  - 原価の上昇と販管費は想定以下に推移

## ◆業績予想：上方修正

- 売上・利益共に想定以上に進捗
- 舶用事業を中心に需要環境は引き続き堅調を維持するとみられることから、経営ビジョン（NAVI NEXT 2030）の前倒しに挑戦

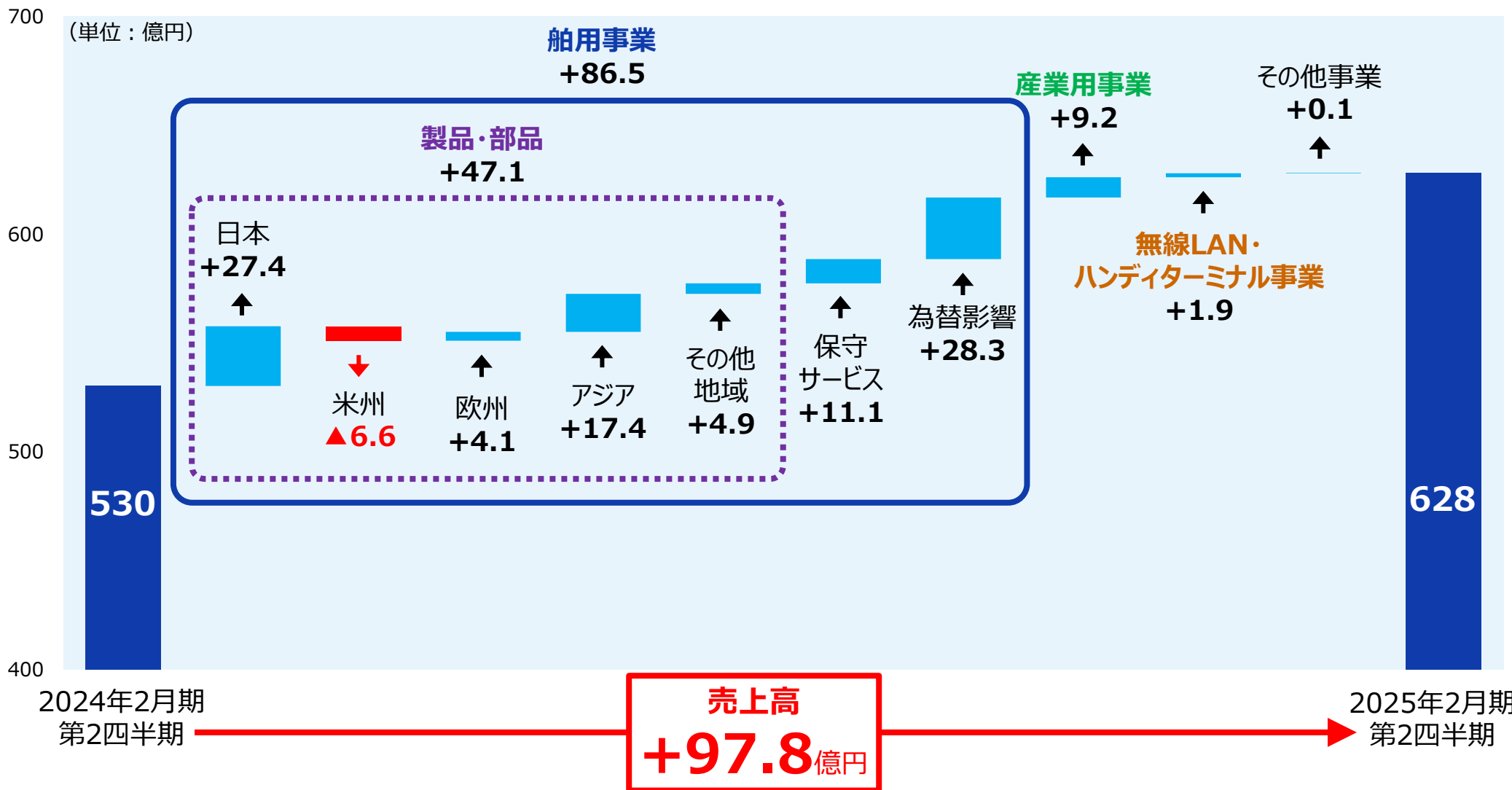
※ 為替感応度（2024年2月期実績値）  
【ドル】売上高：1.2億円、営業利益：0.4億円  
【ユーロ】売上高：1.8億円、営業利益：0.6億円

船用事業の国内・海外での好調な売上増加に加え、為替の追い風もあり、増収・大幅増益

(単位：百万円)	2024年2月期 第2四半期	2025年2月期 第2四半期	増減額	増減比
売上高	53,022	62,801	+9,778	+18.4%
売上総利益 (対売上高比率)	20,788 (39.2%)	26,433 (42.1%)	+5,645	+27.2%
販売管理費 (対売上高比率)	17,058 (32.2%)	19,134 (30.5%)	+2,075	+12.2%
営業利益 (対売上高比率)	3,729 (7.0%)	7,299 (11.6%)	+3,569	+95.7%
経常利益 (対売上高比率)	4,525 (8.5%)	7,514 (12.0%)	+2,988	+66.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (対売上高比率)	3,280 (6.2%)	5,067 (8.1%)	+1,787	+54.5%
研究開発費 (対売上高比率)	2,772 (5.2%)	2,954 (4.7%)	+181	+6.5%
設備投資額 (対売上高比率)	1,443 (2.7%)	2,024 (3.2%)	+580	+40.2%
減価償却費 (対売上高比率)	1,648 (3.1%)	1,706 (2.7%)	+57	+3.5%
(単位：円、期中平均レート)				
為替 (対ドル)	135	150	+15	+11.3%
為替 (対ユーロ)	147	165	+18	+12.1%

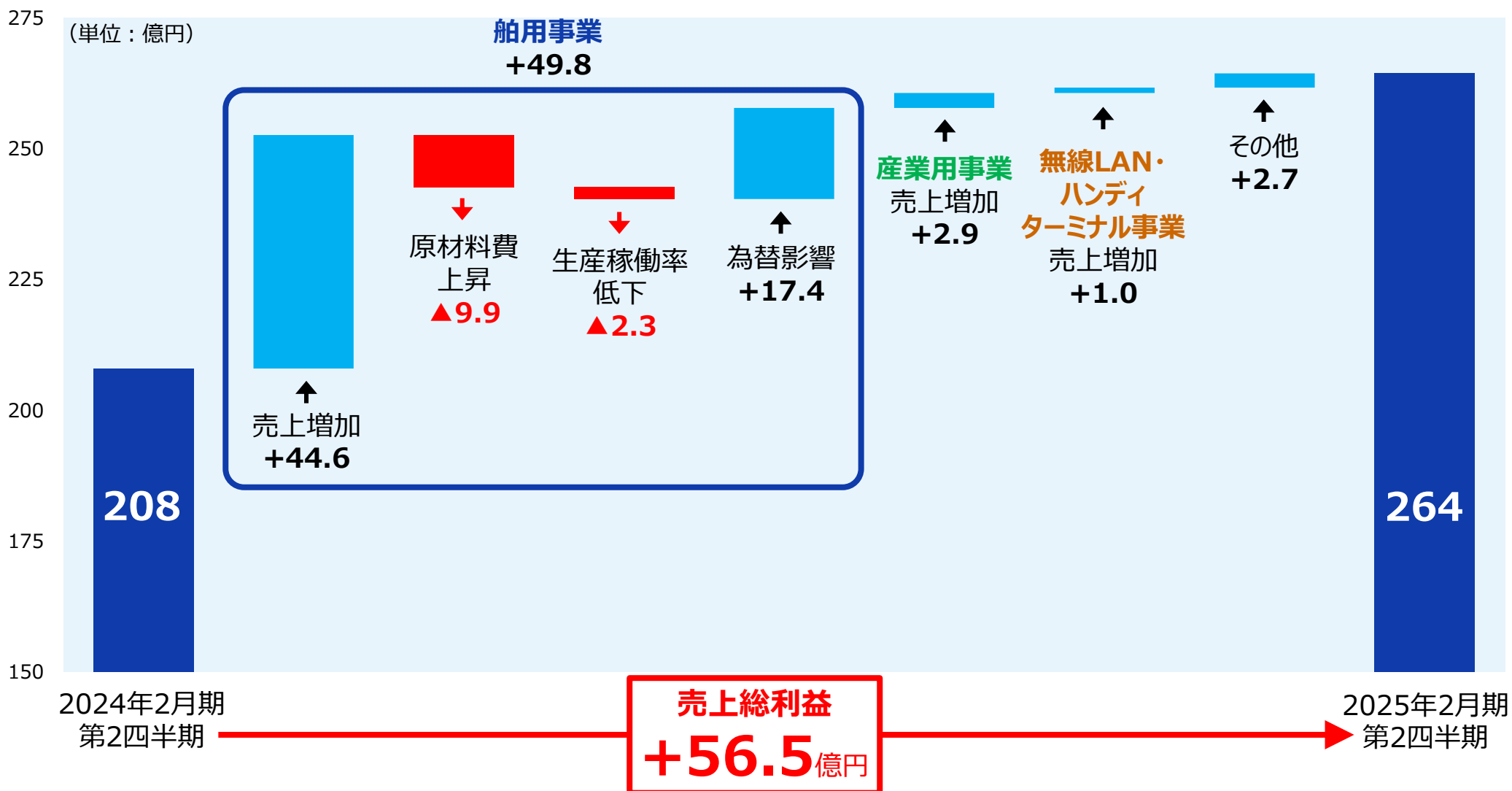
# 業績ハイライト：売上高の増減分析

船用事業は商船向けの販売が好調につき、日本とアジアで大きく増加  
産業用事業においては、防衛装備品事業が増収を牽引

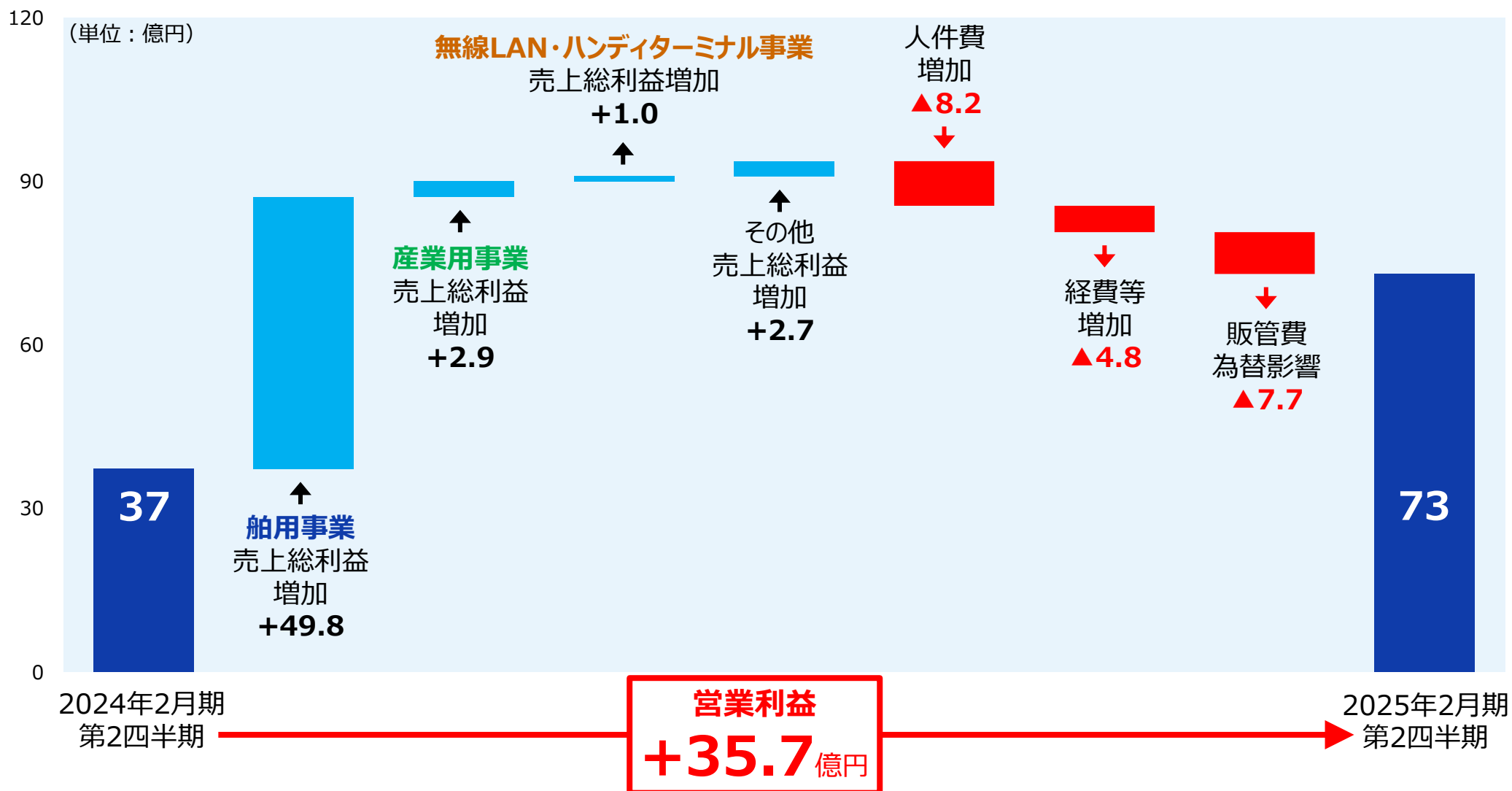


# 業績ハイライト：売上総利益の増減分析

原材料費上昇と生産緩和による影響から原価は増加するも、各事業の売上増加により増益

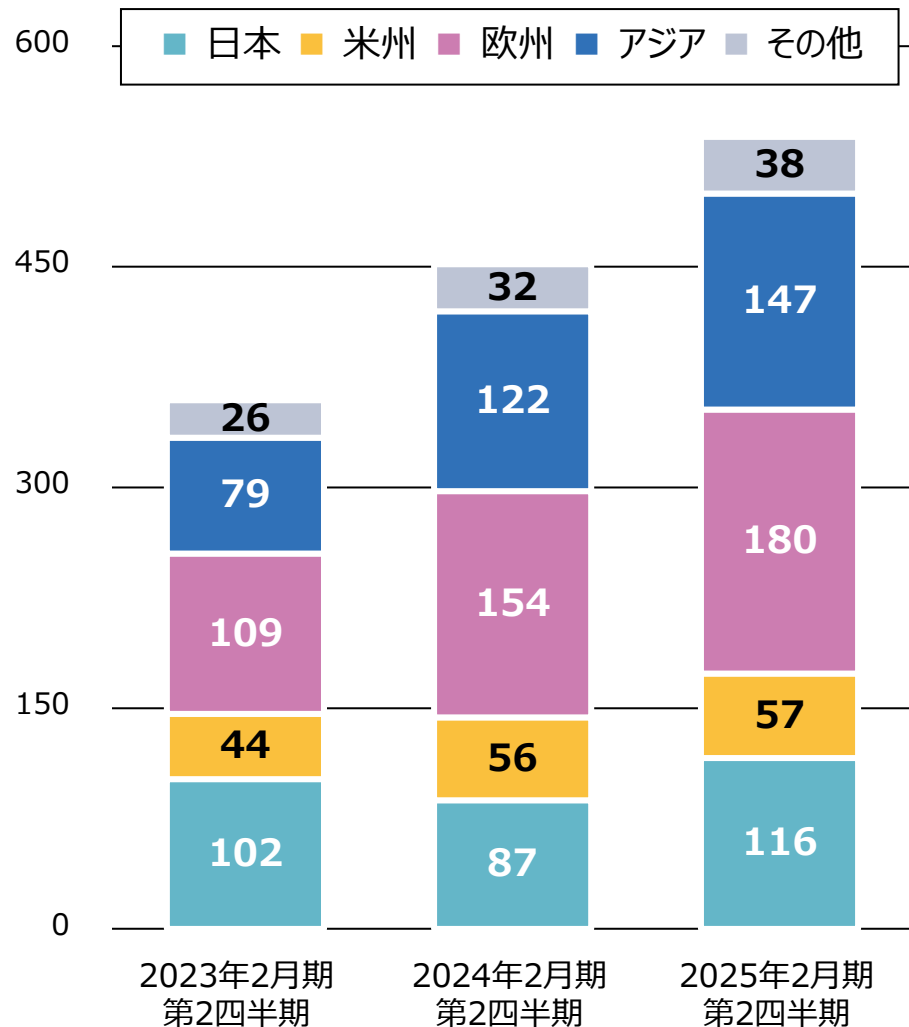


給与改定に伴う人件費等、販管費は増加するも、各事業の売上総利益の増加により増益



## 船用事業 連結売上高（累計・地域別）

(単位：億円)



## 船用事業

売上高 **538**億円（前年同期比 **+19.2%**）

セグメント利益 **69.2**億円（**+27.5**億円）

- 特に商船向けでは堅調な需要環境が継続
- 保守サービス売上も国内・海外ともに増加
- プレジャーボートの中小型艇向けは軟調も、大型艇向けは堅調を維持

◆日本：売上高 **116**億円（**+33.0%**）

- 商船の新造船案件への販売および漁業向けの販売が増加

◆米州：売上高 **57**億円（**+1.6%**）

- プレジャーボート向け機器の販売台数が減少
- 為替の円安影響により増収

◆欧州：売上高 **180**億円（**+16.8%**）

- 商船、プレジャーボート向け機器の販売が増加
- 保守サービスの売上も堅調に増加

◆アジア：売上高 **147**億円（**+20.1%**）

- 商船向け市場における新造船案件への販売が増加

## 産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）



### 産業用事業

売上高 **70**億円（前年同期比 **+15.3%**）

セグメント利益 **3.0**億円（**+2.6**億円）

● **主に防衛装備品の販売増加により増収増益**

◆ **ITS・GNSS**：売上高 **32**億円（**+0.4%**）

- GNSS時刻同期製品の販売が増加、OEM受託製品も回復基調
- ETC車載器の販売は減少だが回復傾向

◆ **ヘルスケア**：売上高 **14**億円（**+4.6%**）

- 生化学分析装置の販売が増加

◆ **防衛装備品**：売上高 **23**億円（**+54.9%**）

- 防衛予算増加に伴う案件増により増収

### 無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高 **19**億円（前年同期比 **+11.5%**）

セグメント利益 **1.3**億円（**+1.3**億円）

● **無線LANアクセスポイントの販売が増加するも、需要環境は低調**



船用事業を中心に需要環境は引き続き堅調を維持するとみられることから、  
経営ビジョン（NAVI NEXT 2030）の売上目標前倒し達成と営業利益100億円越えに挑戦

(単位：百万円)

	2024年2月期 通期実績	2025年2月期 前回の通期予想	2025年2月期 今回の通期予想	増減額
売上高	114,850	117,000	123,000	+6,000
営業利益 (対売上高比率)	6,519 (5.7%)	6,500 (5.6%)	11,000 (8.9%)	+4,500
経常利益 (対売上高比率)	8,169 (7.1%)	8,000 (6.8%)	11,500 (9.3%)	+3,500
親会社株主に帰属 する当期純利益 (対売上高比率)	6,238 (5.4%)	4,000 (3.4%)	7,500 (6.1%)	+3,500
為替 (対ドル)	135	153	149	▲4
為替 (対ユーロ)	145	164	163	▲1

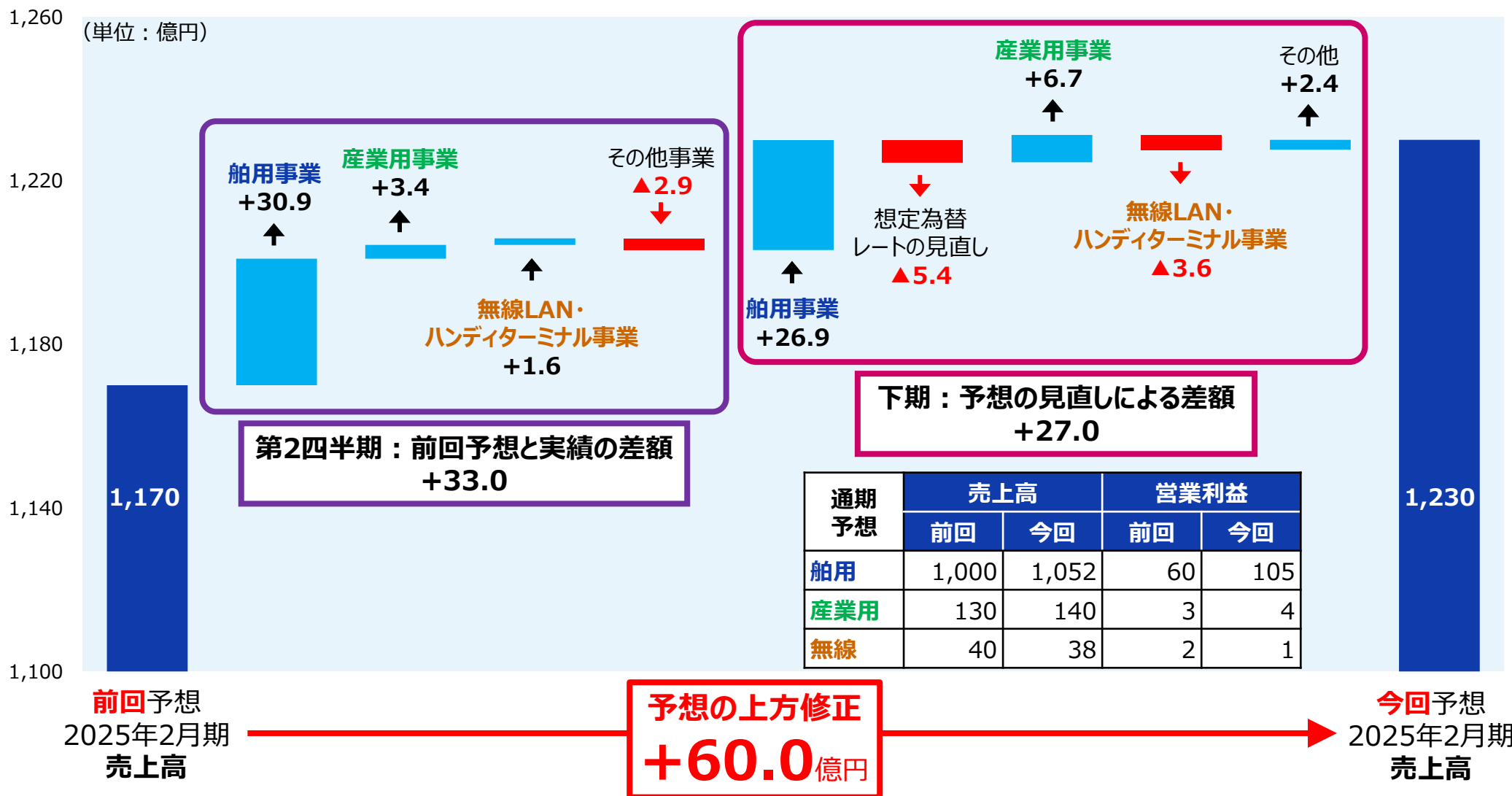
## 通期業績予想の修正により、配当予想も修正

(単位：円)

	第2四半期末	期末	年間	連結配当性向
2024年2月期	20	40	60	30.4%
2025年2月期・前回の予想	15	25	40	31.6%
2025年2月期・今回の予想	35	40	75	31.6%

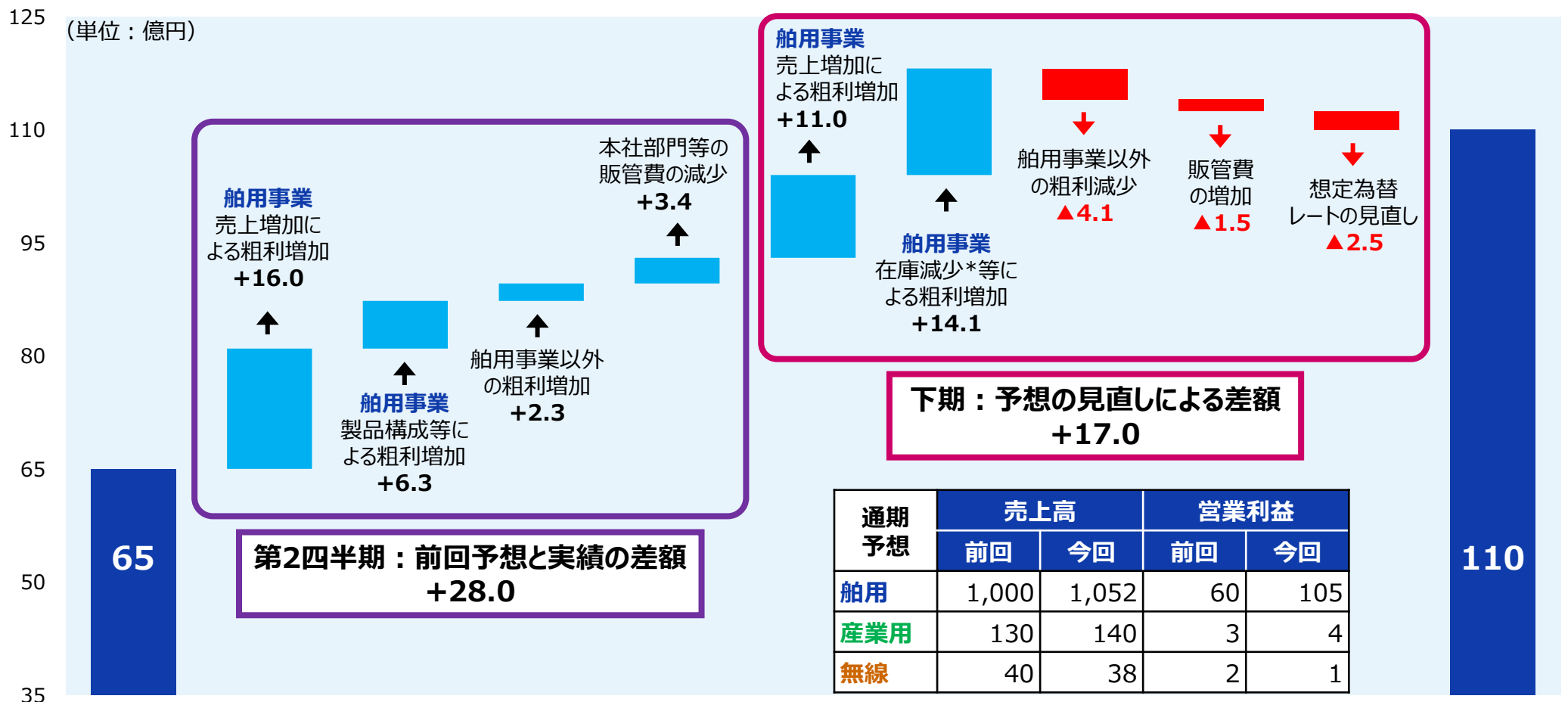
# 前回予想からの変更点：売上高

2Qは船用事業における需要環境の堅調さが想定以上に継続。下期も需要環境は維持と予想。想定為替レートを円高に見直すも、防衛装備品等の増加により、前回予想値からの更なる増収を図る。



# 前回予想からの変更点：営業利益

2Qは船用事業の売上増加に加え、製品構成の変化等もあり大きく増益の実績。下期は想定為替レート見直しや一部上期から下期へスライドする費用があるも、売上増と未実現利益の減少により更に増益。



前回予想  
2025年2月期  
営業利益

予想の上方修正  
**+45.0**億円

今回予想  
2025年2月期  
営業利益

(単位：百万円)	2024年2月期 通期	2025年2月期 第2四半期
流動資産 (現金及び預金) (たな卸資産)	86,285 (11,786) (46,088)	89,871 (12,321) (46,820)
固定資産 (有形固定資産) (無形固定資産) (投資その他の資産)	28,085 (14,751) (4,902) (8,432)	28,306 (14,949) (5,565) (7,791)
<b>資産合計</b>	<b>114,370</b>	<b>118,177</b>
流動負債 固定負債	39,385 13,550	35,389 14,162
<b>負債合計</b>	<b>52,935</b>	<b>49,552</b>
株主資本 その他 非支配株主持分	55,184 5,856 383	58,997 9,224 403
<b>純資産合計</b>	<b>61,434</b>	<b>68,624</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>114,370</b>	<b>118,177</b>
自己資本比率	53.4%	57.7%

# トピックス

## 「統合報告書 2024」を発行

### サステナブルな社会の実現とさらなる企業価値の向上に向けて

当社は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに、**中長期的な企業価値向上を目指す**ための事業活動や中期経営計画、サステナビリティへの取り組みを財務・非財務の両面からわかりやすくお伝えするために、2023年より統合報告書を発行しています。

発行2年目となる今年度は、当社の「**価値創造プロセス**」「**CFOおよび社外取締役メッセージ**」「**人財戦略**」「**GHGの削減目標**」などを新たに掲載しています。

今後も当社では、統合報告書や公式ウェブサイトによる情報開示の充実を通じて、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。

- ・日本語版：<https://www.furuno.co.jp/csr/report/>
- ・英語版：<https://www.furuno.co.jp/en/csr/report/>



## 世界初・複数船舶を遠隔航行支援する「陸上支援センター」が完成

### 2025年までの無人運航船の実用化に向けた着実な前進

当社は、日本財団が2020年2月より推進する無人運航船プロジェクト「MEGURI2040」に参画しています。この度、これまで開発を進めてきた**陸上から複数船舶を遠隔で航行支援する「陸上支援センター」**が、当社社屋内に完成しました。本陸上支援センターでは、2025年7月から順次実施する実証実験において、4隻同時に無人運航船の遠隔航行支援を行う予定。

「MEGURI2040」は第1ステージにおいて、2022年1月から3月にかけて、**6隻の船舶の無人運航実証を成功**させています。現在進行中の第2ステージでは、実証実験のみならず社会実装への対応を目指しており、2040年に**国内を走る船舶の50%を無人運航化する目標**の達成に向けて、事業を加速していきます。



陸上支援センターでの業務の様子



個船を監視するブース



## 魚群探知機が「IEEE Milestone」認定

### IEEE Milestoneについて

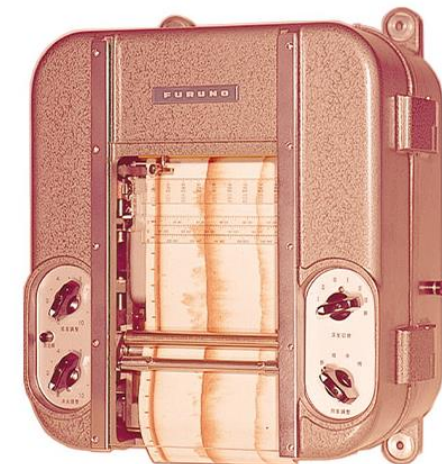
本賞は、電気・電子分野の画期的イノベーションのうち、**開発から25年以上経過し、社会や産業の発展に多大な貢献をした歴史的偉業を認定する制度**として1983年に創設されました。過去にはボルタ電池やフレミングの2極管、さらに日本では二次元コードや東海道新幹線、ハイビジョンなどが受賞しており、2024年までに世界で約260件の業績が認定されています。

(参考：過去の受賞一覧) [https://ieee-jp.org/activity/jchc/milestone\\_jusho.html](https://ieee-jp.org/activity/jchc/milestone_jusho.html)

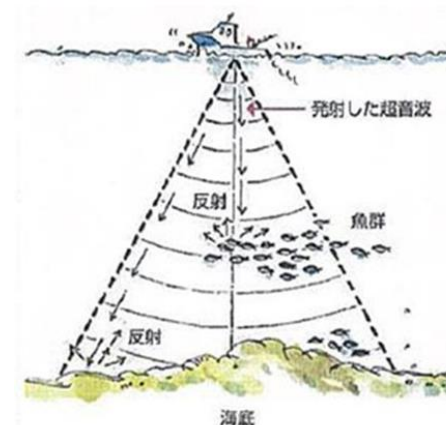
### 認定された「魚群探知機」について

魚群探知機は振動子に電流を流すと超音波が水中に発射され、その反射波を電気信号に変換することにより魚群を映像化して探知する装置です。当時、海深調査に使用されていた音響測深機の受信増幅器を改良し、魚群から反射する微弱な超音波信号を探知できるようにしました。そして、その送受波器を船底に設置することで気泡によるノイズの影響を最小限にする設置方法を考案し、1949年に世界で初めて商品化を行いました。

**開発した魚群探知機を用いてイワシの群れの正確な探知に成功したことで漁獲量が飛躍的に向上し、漁業に欠かせない装備として急速に普及**。漁獲量の向上は戦後不足していたタンパク質の資源確保にも役立ち、日本人の生活の安定に貢献しました。それまで漁師の勘と経験に頼っていた漁業に「科学的な目」を与えたことで、**日本のみならず世界の水産業に大きな変革をもたらし、現在では世界中の漁船に魚群探知機が搭載**されています。



初期型の魚群探知機



超音波による魚群探知の原理図解



## えるぼし認定において、2つ星を取得

当社は、このたび厚生労働省が策定する女性活躍推進に積極的に取り組む企業を認定する制度「えるぼし認定」において、2段階目（2つ星）の認定を受けました

「えるぼし」認定とは、女性活躍推進法に基づき、一般事業主行動計画の策定・届出等を行った事業主のうち、**女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況が優良である**等の一定の要件を満たした事業主が、都道府県労働局への申請により厚生労働大臣の認定を受けることができます。

「えるぼし」認定における5つの評価項目のうち、当社は「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリア」の4項目において認定基準を満たしました。今回の認定は当社のこれまでの女性活躍推進の取り組みに対する一定の評価として捉えております。

2015年には「次世代育成支援対策推進法」に定められた基準を満たし、目標を達成したことにより厚生労働省から「子育てサポート企業」として認定され、くるみんマークを取得しました。さらに2024年5月には、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）推進課を新設し、性別・国籍・年齢等に関係なく「全ての社員が能力と個性を活かし活躍できる環境・風土」を目指して、各種施策のさらなる展開を進めています。

当社では今後も、**従業員ひとり一人が活躍するために、より良い職場と公平な成長機会の実現に向けて、さらなる環境整備に努めてまいります。**



## 海を未来にプロジェクト

海に育てられた企業として

海を未来につなげていく。



長きにわたって海に育てられてきた企業として、2023年から新たに「海を未来にプロジェクト」を立ち上げ、啓発・技術の両面から「海を好きになってもらう活動」「海を守ろうとする活動」を推進しています。



▶ オリジナルイラストパネル展示 & ワークショップ

無印良品 阪急西宮ガーデンズにおいて、2024年7月1日から一か月間、当社の公式アンバサダー「さかなのおにいさん かわちゃん」が描いた、自然あふれる西宮の街並みや豊かな海を表現したオリジナルイラストパネルを展示しております。さらに期間中には、「かわちゃん」による「おさかなトークショー & ワークショップ」を開催し、子どもたちが描いた色とりどりのおさかなをイラストに自由に泳がせました。

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.



▶ 小学校での環境学習イベント開催

「かわちゃん」と共に西宮市立瓦木小学校の全校生徒約400名を対象に、楽しいおさかなクイズショーを通して海の魅力や環境問題について学びました。学習した子どもたちは、西宮に生息する身近な魚など様々な海の世界に触れることで、現在、そして未来の海洋環境を考える契機となりました。今後も継続して西宮市内の小学校にて「海」をテーマにした環境学習イベントを開催してまいります。



▶ こども食堂に新鮮で美味しい魚を届ける活動

地域住民や自治体が主体となって無料、または低価格で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場となっている「こども食堂」ですが、「食材の調達」特に魚介類の調達が課題といわれています。そんな中、全国の漁港に拠点をもち、漁業関係者と深い繋がりを持っているFURUNOではこども食堂への支援活動を行っています。食料の提供のみならず、水産業に興味をもってもらうような漁港や養殖場の話をするなど、子ども達にもっと魚を好きになってもらえるよう取り組んでいます。

## 「100年企業ビジョン：海の恩恵をすべての生きるものへ」を設定しました

FURUNOは2048年に創業100周年の節目を迎えます。超長期方針として「100年企業ビジョン：海の恩恵をすべての生きるものへ」を掲げ、**2050年時点の未来社会「Ocean 5.0」**における、**FURUNOが貢献できる重要なテーマ**を設定しました。これは、当社が進化し続け、**社会の役に立つ企業であり続ける**ための道しるべとなるものです。

私たちが目指すのは、「海の恩恵をすべての生きるものが受け、さらに海に恩返しする未来を創造すること」。これから、他社との共創を含めた様々な可能性を模索しながら、ビジョンの実現に向けた取り組みを展開していきます。

創業100周年を迎える  
2050年の世界を予測して描いた  
未来社会

**Ocean 1.0**  
海への進出  
海へ恩恵を発見  
木造船・ガレー船など

**Ocean 2.0**  
海の活用  
海へ自由に航海  
木造船船・羅針盤など

**Ocean 3.0**  
海の支配  
人間中心での海の支配  
蒸気船・魚群探知機など

**Ocean 4.0**  
海の持続  
持続可能性の模索  
電気船・自律航行など

**Ocean 5.0**  
海との共存共栄  
海の恩恵をすべての生きるものが受け、  
さらに海へ恩返す未来を創造。

Ocean 5.0の世界観で FURUNOが **貢献していきたいテーマ**

### 海の情報

海上、海中、海底からの情報で人々を助ける

**経済価値**  
海洋をめぐるデータを収集し、災害予測、気象予測などの事業を創造します。

**社会価値**  
データの活用を通して、安全安心な海洋社会を目指します。

### 海の流通

海をもっと安全に、もっと自由に交易できる場所へ

**経済価値**  
海洋流通において、経済効率性を向上させた、快適な物流を実現します。

**社会価値**  
海洋における事故や通商を無くし、誰もが安全安心に海の流通に関われる社会を目指します。

### 海の資源

おいしい魚をいつまでもすべての人に

**経済価値**  
すべての人が安価で高品質な魚介資源を享受できる事業を実現します。

**社会価値**  
海洋生物の絶滅の危機を脱し、生物多様性を損なわない持続可能な海洋を目指します。

※経済価値、社会価値は「生物多様性」と共通です

### 海の災害

海でも陸でも、災害を予防する

**経済価値**  
陸海のデータを解析する技術を高め、災害予防の事業を創造します。

**社会価値**  
災害や異常気象が増える中で誰もが安全に過ごし、不確実な未来に対応できる社会を目指します。

### 海の環境

人と世界を支える海の恩恵に感謝し、責任を果たす

**経済価値**  
海洋汚染を防ぎ、持続可能な海洋を実現する事業を創造します。

**社会価値**  
海の恩恵を受けられるだけでなく、持続可能な豊かな海洋を目指します。

### 生物多様性

海洋の豊かな生物多様性を未来に引き継ぐ

**経済価値**  
すべての人が安価で高品質な魚介資源を享受できる事業を実現します。

**社会価値**  
海洋生物の絶滅の危機を脱し、生物多様性を損なわない持続可能な海洋を目指します。

※経済価値、社会価値は「海の資源」と共通です

### 海での暮らし

海を怖さから解放し、快適に暮らせる空間に

**経済価値**  
海上において新たな生活空間を整備する事業を創造します。

**社会価値**  
人間がより安全安心に海洋で暮らし、自由なライフスタイルを実現できる社会を目指します。

### Webサイト開設

FURUNO Ocean 5.0  
<https://future-vision.furuno.co.jp>



最新情報は、Webサイトをご覧ください。

# **FURUNOグループの事業概要**

FURUNOは1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2024年2月29日現在



西宮本社



研究開発棟 SOUTH WING

社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年 (昭和26年)
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
従業員 (連結)	3,356 名
売上高 (連結)	114,850 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場

I R情報サイト ⇒ <https://www.furuno.co.jp/ir/>

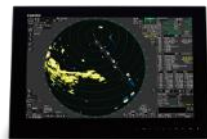
製品情報サイト ⇒ <https://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト ⇒ <https://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

# 安全安心・快適、 人と環境に優しい社会・航海の実現



## 商船向け事業



レーダー



ECDIS  
(電子海図情報表示システム)



衛星通信装置

## 漁業向け事業



ソナー



魚群探知機



潮流計

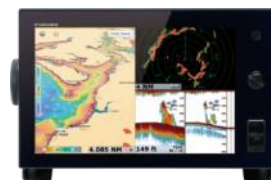


無線機器

## プレジャーボート向け事業



レーダー



ネットワーク対応航海機器



GPSプロッタ魚探



オートパイロット

## ITS・GNSS



ETC2.0/ETC車載器



ETC車両  
管理ソリューション



GPS (GNSS)  
チップ・モジュール

## ヘルスケア事業



生化学自動分析装置・試薬



超音波骨密度測定装置

## 無線LAN・ハンディターミナル事業



無線LANアクセスポイント



無線ハンディターミナル

